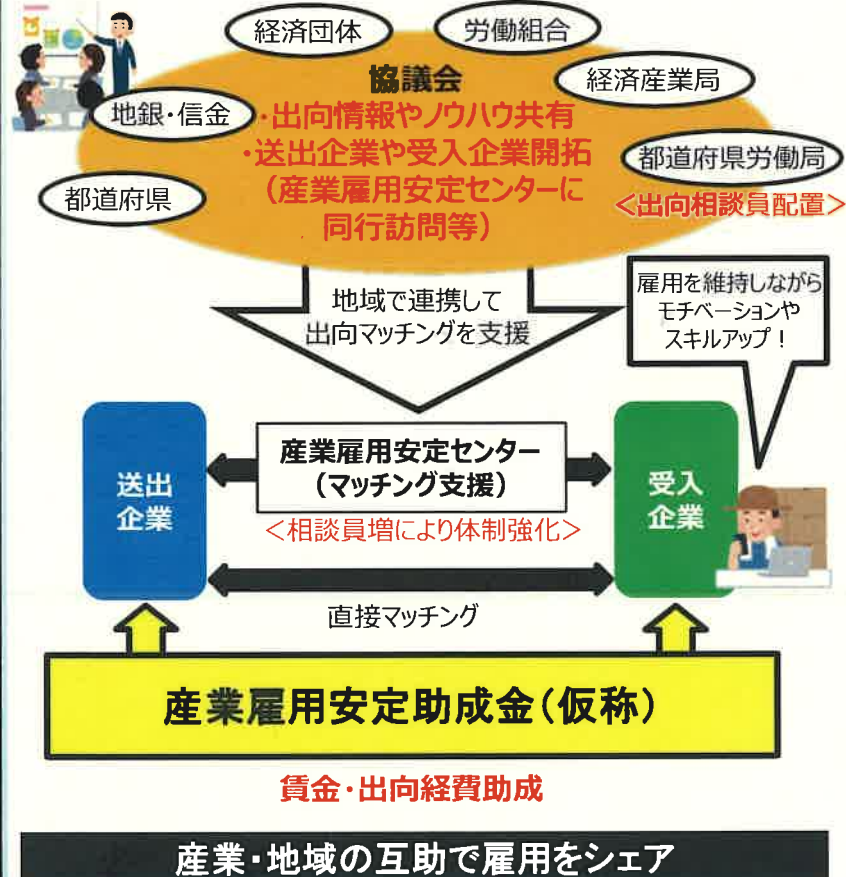


## 1.在籍型出向の活用による雇用維持等への支援0.1兆円

## 2.早期再就職等の支援 0.3兆円

- 「雇用シェア」(在籍型出向制度)支援の助成金の  
新設、マッチング支援機能の強化<635億円>
- 他業種進出のために労働者に訓練を行う事業主の支援  
<293億円の内数>



- 早期再就職のための離職者訓練の推進<1,089億円>
- 医療・介護・保育分野等の人材不足分野へのマッチング支援の強化<61億円>
- 離職者を早期に雇い入れた事業主や就職困難者を雇い入れる事業主、  
一定期間試用雇用する事業主への助成金の活用<632億円>
- 業種・職種を越えた転換を伴う再就職等を促進する都道府県の取組等を支援  
(地域活性化雇用創造プロジェクトの新コース創設等)<128億円>
- 都市部から地方への移住を伴う地域を越えた再就職等の支援<9億円>
- ハローワークにおける求人確保と求人充足サービスの充実<73億円>
- ハローワークにおける非対面(非接触)サービスの充実などに向けた検討・試行実施<2億円>
- 求職者の特性に応じた支援の強化<1,326億円>

- [非正規雇用労働者・子育て中の女性・就職氷河期世代等]<536億円>
  - ・ハローワークにおける非正規雇用労働者等に対する相談支援体制の強化
  - ・子育て中の女性等に対する、マザーズハローワーク等における就職支援及び  
仕事と家庭の両立ができる求人の確保、職業訓練の強化
  - ・就職氷河期世代支援プログラムに基づく就職支援の推進
  - ・早期再就職のための求職者支援訓練の推進
  - ・紹介予定派遣を通じた正社員化に取り組む派遣先事業主への助成対象の拡充 等
- [若者]<132億円>
  - ・若者(新卒者、既卒者等)への就職支援の強化
- [高齢者]<304億円>
  - ・ハローワークにおける生涯現役支援窓口などのマッチング支援の拡充
  - ・70歳までの就業機会確保等に向けた環境整備等を行う企業への支援
  - ・シルバー人材センターや自治体等との連携による地域の多様な就業機会の確保
- [障害者]<167億円>
  - ・中小企業をはじめとした障害者の雇入れ支援等の強化、障害者の雇用を促進するためのテレワークの推進
  - ・精神障害者、発達障害者、難病患者等の多様な障害特性に対応した就労支援の強化
- [外国人労働者]<102億円>
  - ・外国人労働者の適正な雇用管理に関する企業への助言・援助、外国人求  
職者に対する就職支援、外国人の多言語相談支援体制や情報発信の強化
  - ・外国人技能実習の実地検査や相談支援の適切な実施
- [生活困窮者]<86億円>
  - ・地方公共団体と連携したハローワークにおける生活困窮者等に対する就職支援 等
  - ・生活困窮者等を雇い入れる事業主への助成

## 3.雇用調整助成金等による雇用維持の取組の支援 2.1兆円

- 雇用調整助成金の特例措置等は、現行措置を2月末まで延長の上、3月以降、段階的に縮減し、5~6月にリーマンショック時並みの特例とすることを基本の想定としつつ、感染状況や雇用情勢を踏まえ柔軟に対応する。

(注)予算額は、令和2年度三次補正予算及び令和3年度当初予算の合計(15か月予算)(重複排除しているため、各項目の合計は見出しの金額と一致しない)